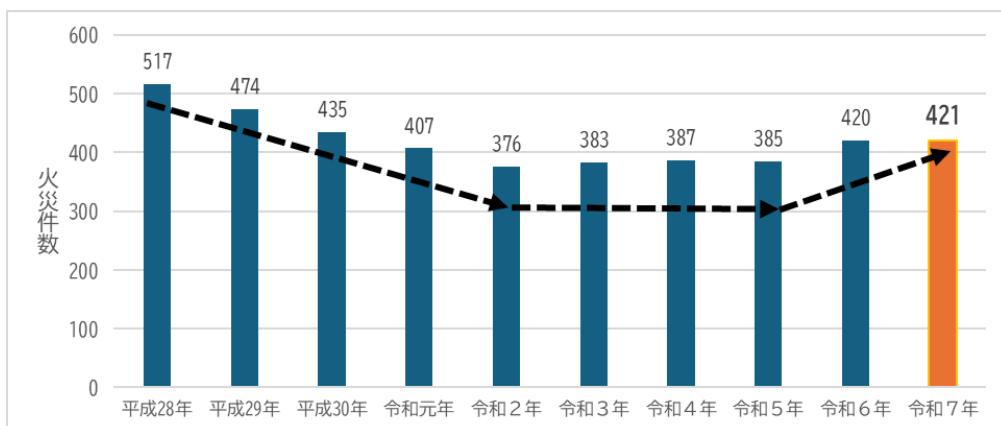


「火の用心だより」第130号(令和8年1月号)

発行：札幌市消防局予防部予防課

令和7年中の火災発生状況(速報値)

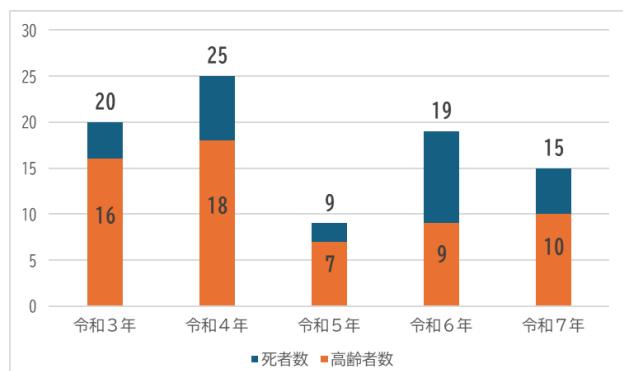
新年あけましておめでとうございます。いつも消防行政に御協力いただきありがとうございます。昨年の火災発生状況(速報値)をお知らせします。札幌市内における令和7年の火災件数は421件で、前年から1件の増加となりました。そのうち、建物火災が308件(前年同数)、林野火災が1件(前年比1件増)、車両火災が47件(同7件減)、屋外物品等の火災が65件(同7件増)となっています。



●死者数は前年比4名の減少

令和7年は火災による死者が15名で、前年から4名の減少となりました。

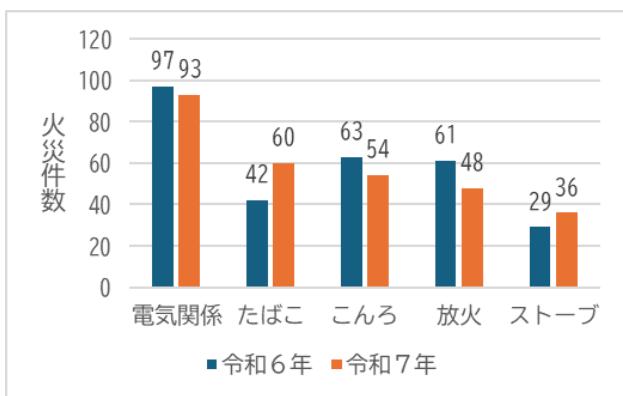
そのうち、高齢者(65歳以上)は10名で、火災による死者の約7割が高齢者となっています。



●出火原因の1位は電気関係

主な出火原因の件数は、次のとおりです。

- | | | |
|---------|-----|----------|
| 1位 電気関係 | 93件 | (前年比4件減) |
| 2位 たばこ | 60件 | (同18件増) |
| 3位 こんろ | 54件 | (同9件減) |
| 4位 放火 | 48件 | (同13件減) |
| 5位 ストーブ | 36件 | (同7件増) |



地震が起きた際の「取るべき行動」

令和7年12月8日、青森県東方沖を震源として最大震度6強の地震が発生し、札幌市内でも最大震度4を観測しました。

地震は突然起こります。どのような状況・場所でも最善な判断が出来るよう、「取るべき行動」について確認しましょう。

シチュエーション1 <家の中にいるとき>

- 丈夫な机やテーブルの下にもぐるなど、身の安全を守りましょう。
- 揺れが収まった時、または小さい揺れで安全を確保できる場合は、ガス器具やストーブの火をすぐに消しましょう。
- 玄関や窓を開け、いつでも避難できる出口を確保しましょう。
※地震の影響で家や地盤が歪み、窓や扉が開かなくなる可能性があります。
- 停電になった場合は、ブレーカーを落としてから避難しましょう。

シチュエーション2 <外出しているとき>

- 窓ガラスや看板などの落下物に注意して、バッグなどで頭を守り、安全なところに避難しましょう。
- ブロック塀や自動販売機などの倒れそうなもの、垂れ下がった電線には近づかないでください。

その他

- 電車内にいるとき、地下街にいるときなど、様々なシチュエーションが考えられます。二次元コードを確認し、「取るべき行動」を確認しておきましょう！

<地震に関するお問い合わせ先>

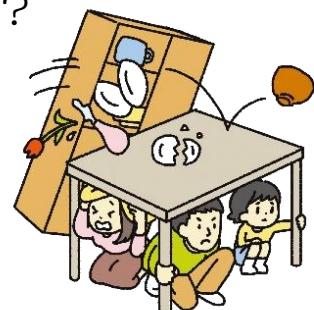
札幌市危機管理局危機管理部危機管理課 TEL：011-211-3062



また、「もしもの備え」として避難場所の確認や防災グッズの準備はよく聞くかと思いますが、家具や家電等の転倒防止をしていますか？

地震により家具等が倒れて下敷きになってしまった場合、ケガだけではなく、最悪の場合「命」を落とすこともあります。

家具等の固定を徹底し、自分や家族の命を守りましょう。



市民が主役の火災予防

発行：札幌市消防局予防部予防課

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ① 火災予防行事・活動に参加しましょう | ④ 防炎品を使用しましょう |
| ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう | ⑤ 放火されない環境をつくりましょう |
| ③ 消火器などの防災機器を備えましょう | ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう |

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目
☎011-215-2040

SAPP_RO



札幌市
02-N06-25444
R7-2338